

個人情報の取り扱いについて

1. 当健康保険組合では下記「個人情報の利用目的の公表」の目的で個人情報を利用します。
2. 適正な方法で取得し、正確性を確保します。 個人情報は、偽りその他不正な手段を用いず、必要な範囲内で取得いたします。また個人情報は正確かつ最新の内容に保つように努めます。
3. 安全性を確保します。 取得した個人情報を適切に取り扱い、情報の漏えいや紛失、き損を防ぎ、外部からの不正なアクセスを防止することに努めます。
4. 職員に教育をし、適切に管理します。 当健康保険組合の職員に個人情報保護に関する教育を実施します。また、管理責任者を置き、個人情報の適切な管理に努めます。
5. 業務委託についても配慮します。 業務を外部に委託する場合は委託先の適格性を十分に審査します。契約内容も個人情報保護に配慮したものに見直し、改善を図ります。
6. 個人情報は共同で利用することがあります。 事業主と共同で実施する健康診査や健康保険組合連合会（健保連）との共同事業「高額医療給付に関する交付金交付事業」については、事業主・健保連と個人情報を共同で利用します。

個人情報の利用目的の公表

個人情報保護法が 2005 年 4 月 1 日より施行されます。

個人情報取扱事業者として、法第 18 条に基づき神栄健康保険組合が保有する個人情報の利用目的について次のとおり公表します。

1. 被保険者等に対する保険給付に必要な利用目的

〔健康保険組合等の内部での利用に係わる事例〕

- ①保険給付および付加給付の実施

〔他の事業者等への情報提供を伴う事例〕

- ①高額療養費及び一部負担還元金等の自動払い
- ②海外療養費に係わる翻訳のための外部委託
- ③第三者行為に係わる損害保険等への求償
- ④健保連の高額医療給付の共同事業

2. 保険料の徴収等に必要な利用目的

〔健康保険組合等の内部での利用に係わる事例〕

- ①被保険者資格の確認並びに標準報酬月額及び標準賞与額の把握
- ②健康保険料の徴収
- ③被扶養者の認定
- ④健康保険被保険者証の発行

〔他の事業者等への情報提供を伴う事例〕

- ①被保険者等の資格等のデータ処理の外部委託

3. 保険事業に必要な利用目的

〔健康保険組合等の内部での利用に係わる事例〕

- ①健康の保持・増進のための健診、保健指導及び健康相談

〔他の事業者等への情報提供を伴う事例〕

- ①保健指導、健康相談に係わる産業医あるいは健保連兵庫連合会看護師への委託
- ②医療機関への健診の委託
- ③健康増進施設（保養所等）の運営の委託
- ④健診結果の事業者への提供
- ⑤被保険者等への医療費通知
- ⑥高齢者訪問健康相談事業の事業者への委託

4. 診療報酬の審査・支払いに必要な利用目的

〔健康保険組合等の内部での利用に係わる事例〕

- ①診療報酬明細書（レセプト）等の内容点検・審査

〔他の事業者等への情報提供を伴う事例〕

- ①レセプトデータの内容点検・審査の委託
- ②レセプトデータの電算処理のためのパンチ入力、画像取り込み処理の委託

5. 健保組合の運営の安定化に必要な利用目的

〔健康保険組合等の内部での利用に係わる事例〕

- ①医療費分析・疾病分析

〔他の事業者等への情報提供を伴う事例〕

- ①医療費分析及び医療費通知に係わるデータ処理等の外部委託

6. その他

〔健康保険組合等の内部での利用に係わる事例〕

- ①健保組合の管理運営業務のうち、業務の維持・改善のための基礎資料

〔他の事業者等への情報提供を伴う事例〕

- ①第三者求償事務において、保険会社・医療機関等への相談又は届出等